



南林間小だより

大和市南林間9-3-2

☎ 275-3141

10月号



2学期が始まり、1ヶ月が経とうとしています。始まった時には、とても暑い日が続きましたが、最近では、暑さも和らぎ、過ごしやすい気候になってきました。

先日、3年生のスーパー見学に行ってきました。スーパーの中で子どもたちは、作業をしている店員の姿に興味を持って見たり、お話しして下さった店員の方をきちんと見ながらメモを取ったりして熱心に取り組んでいました。めったに入ることができない店内の中は、子どもたちにとってとても新鮮なようでした。特に、ブリの姿を見た時には、「うわー。すごい。大きい。」という声が聞かれ、切り身ではない魚の姿に驚きの声が聞かれました。

そんな中、感心したことがありました。作業をしている部屋から、倉庫というように店の裏側には通路がありますが、通路を通る時には、荷物を持っても移動ができるように押して進める扉があります。その扉が閉まらないよう支えていた子どもがいました。支えてくれたおかげで通路を通る子どもたちはとてもスムーズに移動することができました。まわりのことを考え、スムーズに行動ができるようにしていたことに、とても感心しました。

南林間小学校は、思いやりの石があり、子どもたちのシンボルとなっています。また、月初めには、「おもいやりの日」を設け、子どもたちが朝の放送で優しい行動を伝えています。相手のことを考えて行動できた時にはとても心が温かくなります。子どもたちは、ちょっとした行動が「思いやり」だと理解できていない時があります。子どもたちのちょっとした優しい行動が見られた時には、ご家庭でも行動を褒めるなど価値づけをしていただければと思います。学校でも子どもたちの「思いやりの心」を育てていきたいと思っています。

(校長)

.....

R5年度の全国の不登校児童生徒数は34万人というデータがあります。現代の学校教育現場にとって「居場所づくり」、「多様性」は、大きな課題となっています。9月28日NHKの「Dearにつぼん」で、大和市立引地台中学校分教室(不登校特例校)のドキュメンタリー番組が放送されました。教師が悩みながら実践を重ね、学校が変わり、生徒たちが変わっていく姿が、とても印象的でした。

南林間小学校でも、教室での学習や諸活動への参加に困り感のある子に、その子のペースに合わせて学習のサポートをしたり、相談にのったりできるよう「校内の居場所づくり」に取り組み始めています。「こうあるべき」を求めず、「まずは、やってみよう!」という気持ちで、「安心・安全な学校」を目指していきます。

(教頭)